

雪がた

—— 豊科病院だより ——



豊科病院広報誌

平成21年 5月 1日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

新年度式

4月1日に、平成21年度の新年度式が開かれました。五味淵院長は新入職員に対して、「最近マニユアル通りにすれば良いという風潮があるが、マニユアルにはない対応が重要になる時もあることを忘れないで欲しい。業務に慣れるコツとしては、①自分のペースで仕事を覚え、②良い先輩を見つけて、その先輩のマネをするこ



『新年度式』
～病院長挨拶～

と。この2点から始めれば、現場の動きが自然と身につく。」と述べ、次いで職員全員に対しては「不安定な時代になっているが、皆で力を合わせて、今以上の医療の提供に努力する必要がある。」と、話しました。

式は、病院長の挨拶に続いて、配属辞令交付と昇格辞令交付が行われました。



『新入(新卒)職員紹介』〜入職1カ月が過ぎて〜

食事療養部



管理栄養士
平林啓子

私は4月からこの豊科病院に管理栄養士として入職しました。昼食時間には毎日病棟を回らせていただいています。その中で常を感じることは、患者さんは毎日本当に給食を楽しみにしてくれているということです。

毎日たくさんのお患者さんから、「おいしかったよ、ありがとう」「また出してね」などうれしい言葉をたくさんかけてくださいます。そういった声を聞くたびに、あの笑顔をもっとみたいな、もっと喜んでもらいたいなという次の仕事へのエネルギーになります。

先日お患者さんから、「今度は冷やし中華になったんだね。もう、暑いもんね。すごく楽し

み。」とニコニコ笑顔で話しかけてくださいました。

人間にとって食べるということ、は最も楽しいことのひとつだと思います。特に患者さんにとってはその役割が大きいと感じました。病院の中にいてたとえ外に出ることが出来なくても、食事から季節を感じることもできます。また、自分の好きな食事がでるだけで喜びを感じることができるのです。食事は、薬とは違い病気を治すことはできません。けれども、このように患者さんに喜びや楽しみを与えることが出来るのだということを実感しました。

私は、主に献立作成と発注を担当しています。食事は休みなく毎日3食患者さんに提供されています。そのため、決められた日程までにきちんと発注をしなければ、給食を提供することができなくなってしまう。また、発注がうまくいっていないと、献立通りの食事を提供することさえできなくなってしまう。それは、

作業療法部



作業療法士
鹿島詩織

豊科病院に入職してから、早いものでもう1ヶ月余りが経ちました。1ヶ月前まで私は愛知県の特設学校の学生でした。新し

調理員さんにも迷惑がかかってしまいますし、なにより食事を楽しみにしている患者さんを悲しませることになってしまうのです。学生の時とは違い、失敗すると周りの方々に迷惑がかかるのです。そういった毎日の日々のプレッシャーがありますが、常に笑顔を忘れず、先輩の管理栄養士さんや調理員さん病棟のスタッフの方に支えられながら、これからも患者さんに喜んでもらえる食事の提供に力を注いでいきたいと思っています。

い土地での生活は毎日新鮮で、社会人1年生として学ぶことがたくさんあります。今はまだ業務を1日1日こなしていく日々が続いていますが、毎日の患者さんの笑顔、豊科病院のスタッフの皆さんの暖かさ・優しさに支えられながら頑張っています。また、そんな皆さんとの出会いを大切にしていきたいと思っています。

作業療法士として、患者さんのために自分は何が出来るのか？今、自分が行っていることは患者さんのためになっているのか？まだわからない・不安なことだらけです。しかし1人で抱え込むのではなく、先輩の作業療法士が3人もいるという恵まれた環境の中で、私の思いや考えを報告・相談していき、成長していきたいと思っています。また業務に慣れてきて、この気持ちを忘れず、日々自分自身を見つめなおし、振り返りながら、多くのことを学んでいきたいと思っています。そして豊科病院の一員として責任と自覚を持ち、頑張っていきたいと思っています。今後とも、ご指導のほど宜しくお願い致します。

心の癒し (10)

『四季折々の釣り』

看護師 早川 秀和



岩魚

り、気付くと体中が虫刺されという事もしばしばあります。

秋はイカ釣りです。当然ですが、イカは海にいる生物なので長野

私の心の癒し…それは釣りをすることです。その釣りを始めたのは小学生の頃。休日になると父と畑でミミズを採り、竿とバケツを持って青空の下で、のんびり川でフナ釣りをしたのがきっかけでした。

今では、様々な釣りを一年通して楽しんでおります。

春は渓流釣り。腰まである長靴を履き岩魚、山女を求め、道なき道を進み沢を登っていきます。またこの時期に採れる山菜を採るのも楽しみの一つです。

夏は池や湖に小魚やエビなどに見せたルアーやワームと呼ばれる疑似餌を使いブラックバスを釣りに行きます。夏は蚊との戦いでもあります。釣りに集中するあまり

県にはいません。新潟や富山へ行き、日本古来のルアーである餌木(えぎ)と言われる疑似餌でイカを釣ります。眠い目を擦りながら、夜中から朝までイカを求め、ひたすらイカ釣りをします。イカを標的としていますが、時々タコなども釣れる事もあります。

そして冬の時期はワカサギ釣りです。ワカサギは氷の上で釣るイメージがありますが、近年地球温暖化により湖面に氷が張らず、ドーム船と呼ばれる船の中で釣ることが多いです。一見、簡単そうに見える釣りですが、ワカサギ釣りは繊細な釣りで、穂先を通して数々の微妙なアタリで我々釣り人に挑戦状を叩き付けてくる小さなツワモノでもあります。実は奥が

深い釣りでもあるのです。

魚の引きを楽しむ事は勿論ですが、自分で釣った魚をおいしく頂く事も釣りの醍醐味です。私はこうして、一年を通し四季折々の釣りを楽しんでおります。

釣りを楽しむ事は誰でも簡単に出来るものです。しかし釣り場には、心無き人が捨てた飲食物やタバコの吸殻、釣りで使用した糸や針などが無数にゴミとして落ちているのが現状です。いつまでも大好きな釣りを楽しむ為に、マナー

を守って釣りをしていきたいと思っています。

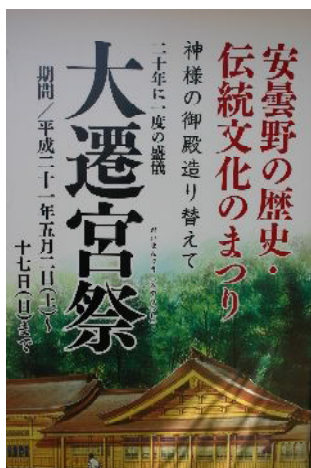
この四季折々の釣りが、私の“心の癒し”です。



ブラックバス

『穂高ぶらり旅』

『精神科デイケア』



5月13日、豊科病院「デイケア」では「穂高ぶらり旅」と称して、20年に一度と言われる「穂高神社大遷宮祭」に行って参りまし

た。心配された雨も出発の頃には止み、大糸線に6分間揺られて穂高駅へ。大イベントとあって観光客も多く、いつにない賑わいを見せていた駅前通りを少し歩くと、もう穂高神社です。

おみくじを引き、「色と酒に溺れなければ良し」との言葉に苦笑いするメンバー。食べ物屋台を端から攻め、昼食前の集合時間にはすでに満腹になっていた



穂高神社 拝殿

たメンバー。うんと迷って「災難厄除」のお守りを大事そうに買っていたメンバー。思い思いに約1時間の自由行動を楽しんでいました。

駅前通りの食堂での昼食タイムは、普段と違ったお座敷で、それぞれ好みの料理に舌鼓を打ちつつ、雑談に花が咲き、「また20年後にも来よう」と、名残惜しく豊科に戻ってきました。

小さな旅行ではありませんでしたが、いつもと違った風景に、笑顔が弾けた一日でした。

外来 医師担当表

平成21年 5月現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 or なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師
内科	信州大学 第一内科 医師	はが けいすけ 芳賀 敬介 医師	休 診	はが けいすけ 芳賀 敬介 医師	はが けいすけ 芳賀 敬介 医師	はが けいすけ 芳賀 敬介 医師

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ 精神科木曜日の担当医は、週ごとに変更となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～・ 編集後記 ・～

豊科病院広報誌「雪がた」第13号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？

世界中で新型インフルエンザの感染が広がりを見せています。そんな中、とうとう日本国内でも人から人への感染が発生してしまいました。

感染予防の為に、マスク着用はもちろんですが、外出後の手洗い・うがいをこまめに行うことを心掛けたいですね。

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。
また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。